

和

Wa

2020 spring
Vol.54

- チーム医療の活動紹介
「緩和ケアセンターの活動」
- 専門診療のご案内
「聴力改善手術について」
- がん診療について
「妊孕性温存治療とは？」
- チーム医療の活動紹介
「緩和ケアセンターの活動」
- 連携登録医の紹介
- 栄養だより
「柏もち」

◆ 専門診療のご案内 ◆

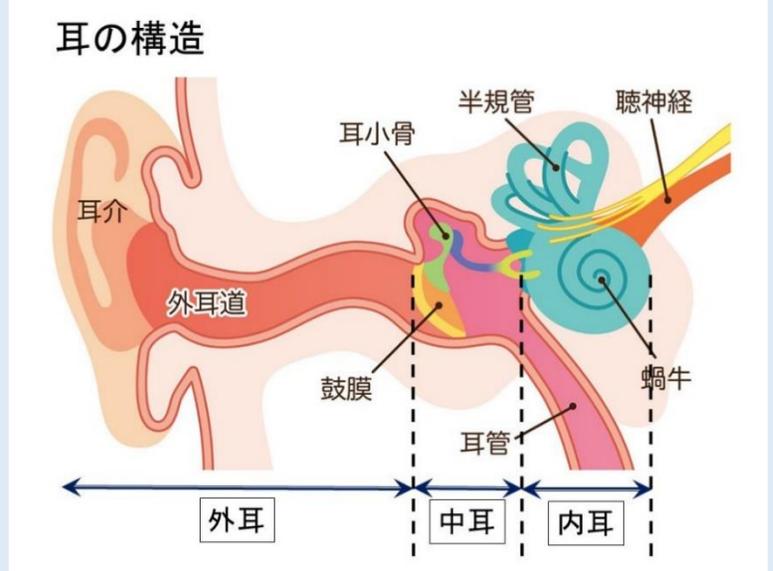
聴力改善手術について

耳鼻咽喉科部長 三代 康雄

耳の構造と難聴の種類

耳の構造を図1に示しましたが、このどこかに不具合が生じると難聴が起こります。外耳と中耳に原因のある難聴を「伝音難聴」、内耳から中枢に原因のある難聴を「感音難聴」と呼びます。感音難聴の多くは残念ながら治療が困難ですが、伝音難聴については手術により聴力改善が得られる可能性があります。

難聴でお悩みの方は耳鼻咽喉科専門医を受診し、自分の難聴がどの程度なのかそして伝音難聴か感音難聴かの診断を受けることをお勧めします。



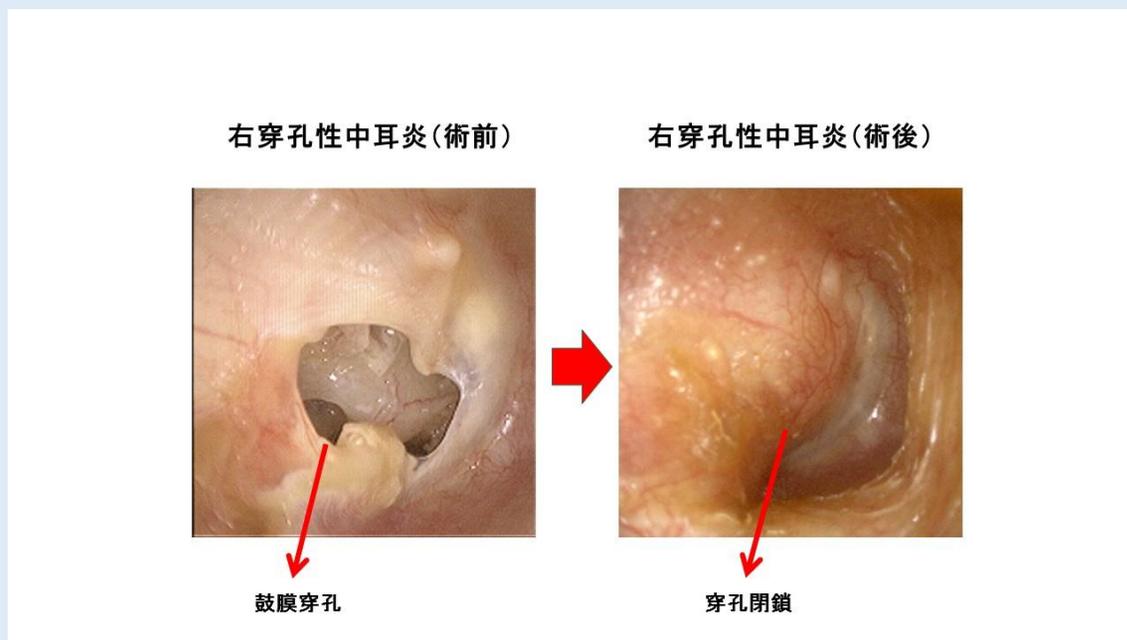
▲図1 耳の構造

聴力改善手術

難聴を手術で改善することを目的とした手術です。対象となる代表的な病気や手術をご紹介します。

1. 慢性穿孔性中耳炎

小児期中耳炎の繰り返しなどで、鼓膜に穴が残った状態です。症状として耳漏や難聴があります。手術で鼓膜の穴を閉じること（図2）や聴力改善が可能です。当科では4-5日の入院で手術を行っております。聴力改善や穿孔閉鎖が約90%の患者さんで可能です。症例に応じてより侵襲の少ない内視鏡手術も行っております。



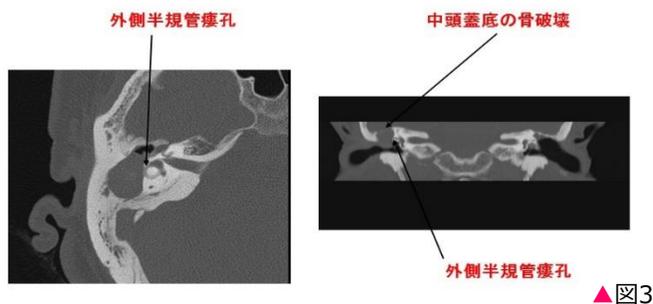
▲図2



2. 真珠腫性中耳炎

名前は宝石の真珠に似ていますが、増大していくと、骨破壊を生じ、めまい・高度難聴・顔面神経麻痺・頭蓋内合併症などの重篤な合併症を起こす可能性のある危険な中耳炎です（図3）。手術でしか治療できませんが、手術をしても再発の少ない厄介な中耳炎です。当科では生理的な耳の形を残すために手術を2回に分ける方法（段階的手術）を第1選択にしております。

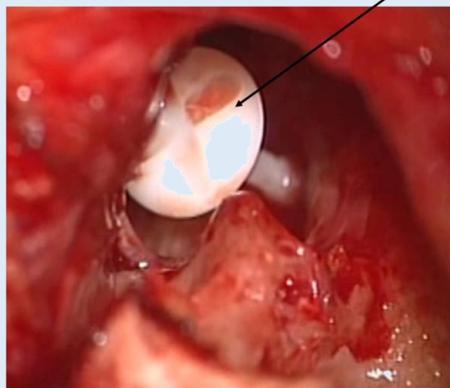
真珠腫性中耳炎の骨破壊



▲図3

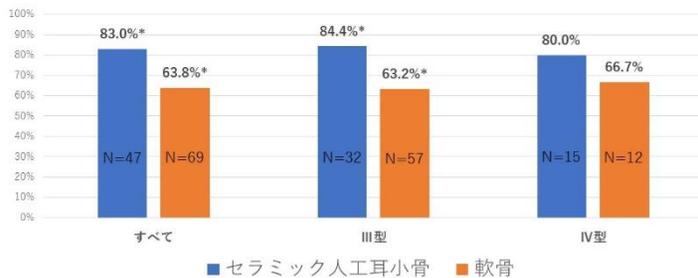
1回目の手術で耳の形を残したまま、真珠腫を摘出し、耳たぶの軟骨で鼓膜を形成します。2回目の手術で再発の点検（再発があれば摘出）し、セラミック製の人工耳小骨（図4）を用いて、耳小骨（図1）の再建を行います。この方法を取るようになってから、聴力改善成績（図5）は改善し、再発率は低下しました。

セラミック製人工耳小骨



▲図4

セラミック人工耳小骨と軟骨による聴力改善成績の比較



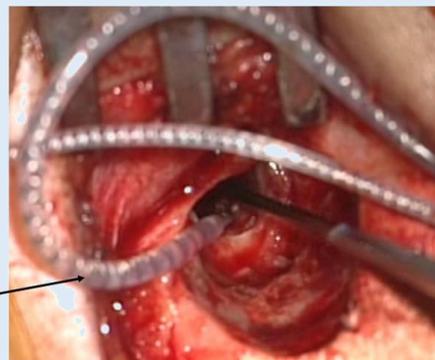
▲図5

*: $p < 0.05$
カイニ乗検定

3. 人工内耳手術

感音難聴の方は補聴器が適応になります。認知症は難聴と関連性が高いことが明らかになっており、高齢者の難聴では早めに補聴器装用されることをお勧めします。しかしながら補聴器装用でも十分な効果の得られない方や生まれつきの高度難聴の方には人工内耳手術が適応になります。これは蝸牛（図1）に電極を埋め込む（図6）手術で、最近では装置の性能が上がっており、著明な聞き取りの改善が得られます。ただしどなたでも適応になるわけではありませんので、まず耳鼻咽喉科専門医にご相談ください。

人工内耳電極 (左耳)



▲図6

外来担当表【完全予約制】

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
中村		山下	山下	交代制	交代制	三代		花本	花本
大島		花本	花本			大島		交代制	交代制
		交代制				杉本	杉本		【嗅覚・味覚】 愛場

● 診察をご希望の場合、紹介状（診療情報提供書）をご用意の上、地域医療連携室でご予約ください。
地域医療連携室（☎06-6929-3643） ※ 紹介枠

◆がん診療について◆

にんようせいおんぞんちりょう

妊孕性温存治療とは？

小児血液腫瘍科部長 藤崎 弘之

医学の進歩により様々ながん治療が開発され、治せるがんも多くなってきましたが、若いがん患者さんはこれらの治療を受けることにより、将来子どもを作る能力（妊孕性）を失う場合があります。例えば、抗がん剤の中には精子や卵子を死滅させるものがあり、たくさん投与した場合には不妊や早期閉経の原因になったりします。放射線治療でも、精巣や卵巣などに放射線が当たった場合には、同じようなことが起こる場合があります。がんを治すために必要な治療とは言え、不妊はがんが治った後の患者さんのQuality of life（生活の質）を大きく低下させうるものとなります。

「がん・生殖医療（Oncofertility）」という言葉をご存知でしょうか？腫瘍学（Oncology）と生殖医療（Fertility）を組み合わせた造語で、2006年に米国ノース・ウエスタン大学のウッドラフ博士が提唱したのですが、その後世界では若年のがん患者さんなどが妊孕性を失わないようにする「妊孕性温存治療」が発展し、近年日本もその流れに追随しています。

すなわち、がん治療により精子や卵子が失われることが予想される場合に事前にそれらを保存しておき、がん治療後にそれらを用いた生殖医療で子どもを得るというものです。具体的には、男性においては、思春期以降に射出精子の保存のほか、精巣から精子を取り出し保存することがされています。

女性においては男性よりは難しくなりますが、可能な場合に卵子や受精卵の保存が思春期以降に実施され、卵巣組織保存は思春期以前の方でも実施できる場合があります。

そして、こうして保存した精子、卵子、受精卵を用いた生殖医療により約25%、10%、30%で子どもを得ることができると報告され、卵巣組織から得られた卵子を用いて子どもが生まれたという報告もたくさんされるようになってきています。

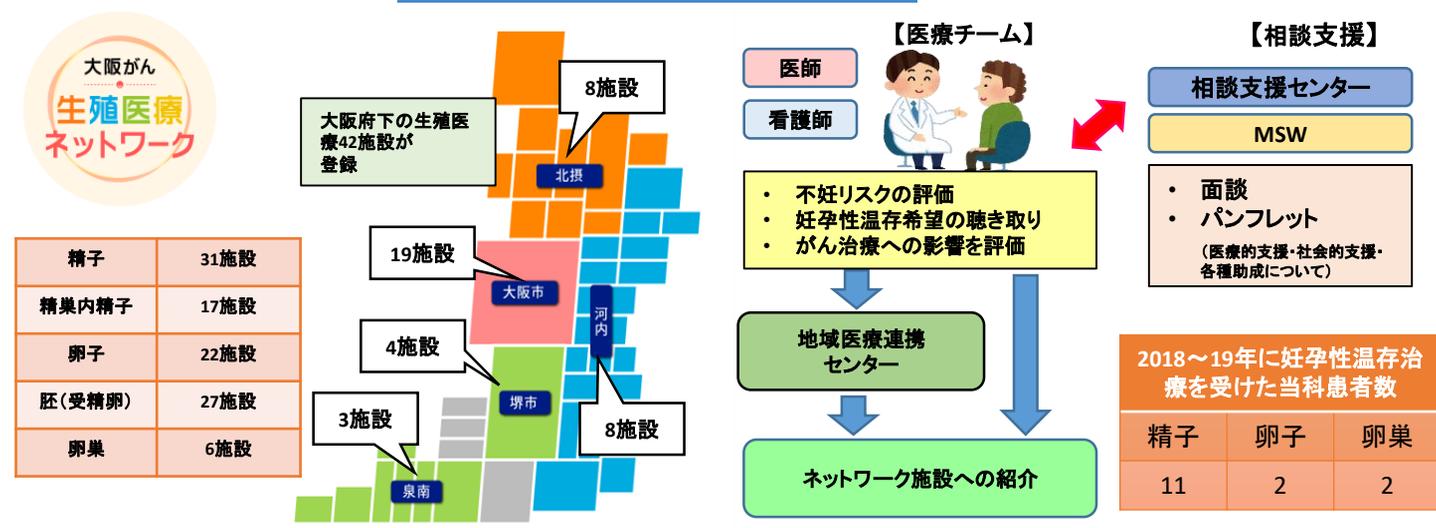
現在行われている妊孕性温存治療

男性	思春期前	現在は不可能 (精巣凍結は研究段階)
	思春期後	射出精子凍結 精巣精子採取・凍結
女性	思春期前	卵巣組織凍結
	思春期後	卵子凍結 受精卵(胚)凍結 卵巣組織凍結

このような妊孕性温存治療ですが、全国各地でがん治療施設と実施する生殖医療施設とのネットワーク作りが進み、大阪府においても大阪がん生殖医療ネットワークが結成されています。また、こうした治療には高額な費用がかかるのですが、これを公的に助成する自治体も増えてきています。

当科におきましても、大阪がん生殖医療ネットワーク参加施設と緊密な連携体制をとっており、思春期や若年成人で妊孕性が失われることが見込まれる患者さんが温存治療を希望され、がん治療に影響を及ぼさない場合には、医療チームだけでなく相談支援部門や地域医療センターがサポートし、可能な限り温存治療を受けていただけるようにする体制となっています。

当院における妊孕性温存治療連携・サポート体制



◆チーム医療の活動紹介◆

緩和ケアセンターの活動

緩和ケアセンター長 多田羅 竜平
同看護師 北田 なみ紀

皆さんは、緩和ケアという言葉を知るとどのようなイメージが浮かびますか？「もう（命が）終わり」「先生に匙を投げられる」そんなことを思い浮かべる人がまだ少なくないかもしれません。緩和ケアは、がんの患者さんにおいて「がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケア※」として位置付けられており、治療の終わりでも匙を投げられるものでもありません。より良い療養のために必要なケアなのです。

そのため大阪市立総合医療センターでは、当院治療中の患者・家族に対して、がんと診断された時から幅広い緩和ケアを提供しています。

○がん診断時・病状説明時の精神的ケア

がん看護に精通した看護師によるカウンセリングや診察への同席によって様々な問題にともに対処します。

○症状の緩和

緩和医療の専門医による外来診療、入院中の訪問診療を行います。

○がんと共生する力を育む

がんサロンの一環としてヨガレッスン（参加要件あり）やアロマセラピー（どなたでも可）を提供しています。

○暮らしやすくする

地域の在宅ケアチームや各専門職種と協力して療養場所や在宅の支援しています。

○がん患者さんの辛さに早く気づいて対処する

「身体とこころ・生活のつらさに関する問診」を定期的に行い、つらさに対応できるよう管理しています。その他、がんに限らず、命を脅かす病や辛い症状に直面している場合にも症状緩和等のケアを提供しています。

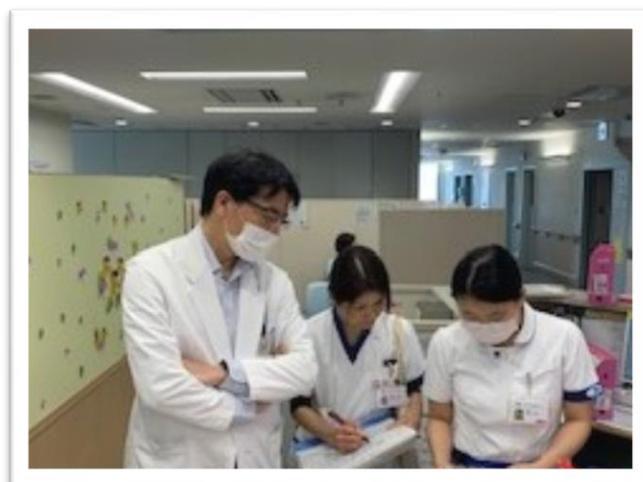
「緩和ケアとは、生活の質を高める大切なケア」です。当院通院中の患者様・ご家族様で「緩和ケアを受けたい」と思われたら主治医にお申し出ください。



▲緩和ケア外来の様子
医師と看護師、患者が話し合いながら診療がすすみます。



▲毎週行う多職種カンファレンス
意見交換や相談を行います。



▲病棟ラウンド-情報を共有している様子



連携登録医のご紹介

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



柏井内科

院長 柏井 卓 (かしわい たく)
 診療科 内科、往診、訪診
 住所 大阪市都島区友洲町1-6-3
 電話 06-6926-3101



柏井院長

院長あいさつ

内科一般、糖尿病、甲状腺、認知症を中心に診療しております。在宅診療にも積極的に取り組み、安心して暮らしていける都島を目指しております。

【往診】往診依頼に応じます。原則としてお電話で御相談下さい。

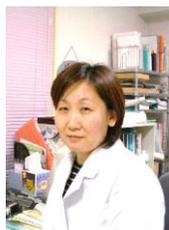
【訪診】ねたきりの患者さんの計画的な訪問診察をします。お電話にて御相談下さい。
 ※上記については直接お電話などでお問い合わせ下さい。往診については、原則的に診療時間外になります。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~13:00)	○	○	○	○	○	※
午後 (16:00~20:00)	○	○	○	×	○	×

※土曜 9:00~12:00 木曜、土曜午後、日曜祝日は休診

酒谷皮膚科クリニック

院長 酒谷 省子 (さかたに しょうこ)
 診療科 皮膚科、往診
 住所 大阪市都島区都島北通1-3-18エイトビル2F
 電話 06-6928-7122



酒谷院長

院長あいさつ

幅広く一般皮膚科の診療を行っています。乾癬、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症など難治性皮膚疾患にはナローバンドUVB、エキシマライトを使用した光線療法を行っています。なお、全予約制にしていますので必ず予約をしてご来院ください。初診時はご面倒ですが、電話でご予約をお願いいたします。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (10:00~13:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診 「全予約制です。」

しらかみ眼科

院長 白紙 靖之 (しらかみ やすゆき)
 診療科 眼科
 住所 大阪市都島区毛馬町2-1-17
 電話 06-6929-0707



白紙院長

院長あいさつ

一般眼科（白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑症、ドライアイ、結膜炎、めばちこなど）、小児眼科（弱視、斜視の検査・治療相談等）、眼鏡、コンタクトレンズ相談、処方も行っております。

専門医としての経験を活かし、きめ細やかで、安心できる診療を心がけており、これからも地域の皆様に貢献し続けたいと思っております。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	○	※	○	×

※木曜 13:00~15:00 土曜午後、日曜祝日は休診

柳田内科

院長 柳田 徹 (やなぎだ とおる)
 診療科 内科、循環器内科、往診、訪診
 住所 大阪市都島区都島南通2-4-8
 電話 06-6922-5245

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:30~12:30)	○	○	○	×	○	○
午後 (17:30~20:00)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診



柳田院長

院長あいさつ

当院に通院される方の多くは、地域の60代以降の高齢者で、女性の方が7割を占めます。こうした患者さまに多くみられるのが、高血圧、糖尿病、高脂血症といった生活習慣病です。地域の皆さまの健康を守る医院として、当院では内科全般の他、このような生活習慣病に力を入れた診療をおこなっています。また、昼間は仕事で来院できない方のためにも、平日夕方の診療は、木曜日以外20時までと、遅くまでおこなっています。来院が難しい場合は往診もいたします。

こおりやま小児科

院長 郡山 健 (こおりやま たけし)
 診療科 小児科
 住所 大阪市都島区善源寺町2-2-22-2階
 電話 06-6926-1155

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	×	○	○	×

※火・金曜の14:00~15:30は予約制の予防接種、乳幼児健診
 水曜、土曜午後、日曜祝日は休診



郡山院長

院長あいさつ

子どもたちが成長していく中では、発熱や嘔吐、下痢などといったいろいろな急性疾患に罹ったり、また子育ての中で気になることがでてきたりと心配ごとが絶えないかと思えます。こんなときに気軽に相談に来ていただける地域のかかりつけの小児科クリニックになりたいと考えております。

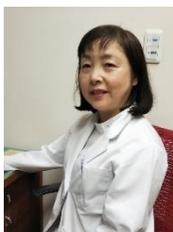
また予防接種と乳幼児健診についても積極的に行い、地域の子供たちの健康を守っていきたくと考えております。さらに子どもの健康管理において必要となる情報についても可能な限り提供していきたいと思っています。

田淵医院

院長 田淵 幸子 (たぶち ゆきこ)
 診療科 内科、皮膚科、放射線科
 住所 大阪市都島区御幸町2-5-3
 電話 06-6921-0260

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (17:00~19:00)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診



田淵院長

院長あいさつ

患者様とのコミュニケーションを図り、地域に密着したかかりつけ医としての医療を提供しています。当院ではおひとりずつじっくりとご相談・診察・治療をさせていただきます。治療には、最新のレントゲン撮影装置や超音波検査装置などを設置し、病気の早期発見・早期治療を行える診療体制を整えています。

医療法人けやき会 やぎクリニック

院長 矢木 泰弘 (やぎ やすひろ)
 診療科 内科、呼吸器内科、緩和ケア内科、往診、訪診
 住所 大阪市都島区内代町1-2-32
 電話 06-6954-0100

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (17:00~19:30)	○	○	×	○	○	×

※水曜、土曜午後、日曜祝日は休診



矢木院長

院長あいさつ

私たちが目指すのは、本当の意味で患者さまに寄り添える医療です。突発的な往診、また定期的な訪問診療にも迅速に対応。特に力を入れている「在宅緩和ケア診療」では、患者さまの意思を尊重し、ご自宅で自分らしく過ごせるよう支援していくことをお約束します。受診された患者さまとご家族の心と体を少しでも軽くできるよう、スタッフ一同、日々努めてまいります。

栄養だより

●● 5月5日『こどもの日』 ●● ●●●● 栄養部 杉本 真一

元来「菖蒲（しょうぶ）の節句」と言われ、古代中国では菖蒲やアヤメには魔除けの力があると信じられており、菖蒲酒や根を煎じて飲む習慣がありました。また、菖蒲は「勝負」や「尚武」に通じるとして菖蒲で兜を作り、子どもの健やかな成長を祈る行事となり、それが現在のような兜人形や出世を祈って鯉のぼりを立てる形となりました。

端午の節句の祝菓子としては、「柏もち」や「ちまき」が食べられます。「柏もち」に使われる柏の葉は古代から食器や調理に使われており、「譲り葉」とも呼ばれ、古い葉は新芽が育つまで落葉しないことから家系が絶えない縁起物とされています。

新型コロナウイルスの影響で休校、外出などの自粛を余儀なくされ、ストレスが大きくなっていると思います。この機会にストレス解消として、親子で祝菓子を作ってみませんか？

参考文献：年中行事・記念日から引ける子どもに伝えたい食育歳時記

●メニュー

柏もち



栄養成分(1個分)
エネルギー約106kcal
たんぱく質1.8g
脂質0.2g
炭水化物24.3g



材料 (10個分)

- ・上新粉：170g
- ・片栗粉：9g
- ・砂糖：3g
- ・お湯：260ml
- ・あん：150g (お好みで調整可)
- ・柏の葉塩蔵：10枚 (あれば)

～作り方～

- ① 柏の葉を水にさらしておく。あんを10等分ラップに取り丸め、冷蔵庫に入れる。
- ② 耐熱容器に④を入れ軽く混ぜ、お湯を入れて、ダマを潰すように全体を混ぜ合わせる。
- ③ ラップをふんわりかぶせてレンジで加熱し、切るように混ぜる。(500W約1分)
- ④ 再びラップしレンジで加熱後、ひとまとめにする。(500W約3分)
※粉っぽさがあればさらに30秒程度加熱する。
- ⑤ クッキングシートの上に取り出し、シートを使い生地を半分に折るようにしっかりこねる。
- ⑥ 生地にツヤが出てきたらまとめ、10等分にわけて、別のクッキングシートの上に薄く楕円に広げ、あんを乗せ、シートごと折って挟むように包む。
- ⑦ 表面が乾いたら柏の葉で包んで完成。

スプーン2つが
オススメ◎

火傷に
注意!

● 外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

インフォメーション

当院では、新型コロナウイルス感染症対策として、医療機能の維持のため徹底した感染管理に取り組んでおります。患者様ならびに関係者の皆様にはご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

大阪市立総合医療センター

3Hの理念
Heart For Public Service
広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane
人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High-technology
高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

■発行責任者：大阪市立総合医療センター
〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
地域医療推進委員会委員長 山根 孝久
<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>